

倉掛新聞

《発行所》 倉掛自治連合会
 倉掛市長/井原町長/谷川町長/堀谷町長/昌弘
 《編集》 倉掛自治連合会
 倉掛少年団/倉掛婦人会/倉掛消防団



郷社まつり

日曜日重なり多くの人出

四月四日は郷社祭り。暖かな日曜日とあって、小田川堤の桜見物を兼ねた参拝者が多数訪れた。立ち並んだ露店で菓子を買い求めたり、植木市で目当ての苗を品定めする家族連れで広い境内は終日賑わった。しかし、植木業者は「今年は産葉まつりと重なり、売上は例年より少なかった。不景気なことも影響しているのでしょうか」



郷社を清掃する少年団員

と、いま一つの表情で語っていた。夕刻五時半からは倉掛少年団（河田達也団長以下二十一名）と同育成会（細羽

『皆様よろしく』

倉掛婦人会新役員でスタート

このたび倉掛婦人会五名の新旧役員交代が行われ、支部長に十二二組の国田珠美さんが選出された。平成十一年度の事業は、

- (1) 市水道料集金
- (2) 国民年金保険料集金
- (3) 井原町敬老会
- (4) 栄養教室伝達
- (5) 町民体育祭バザー
- (6) 検診案内と補助

正敏会長以下十九名）が郷社の清掃作業を行った。団員達の手際よいゴミ回収の

おかげで、境内は短時間のうちにすっかりきれいになった。

- 倉掛婦人会新役員
- 支部長 国田 珠美
 - 副支部長
 - 教養部 田中 和子
 - 生活部 倉橋 妙香
 - 保健部 橋本 智枝
 - 会計 川相 弘子

倉掛地区の事業所増加

五月に法人集金

倉掛自治連合会は五月十四日、倉掛地区内約六〇事業所へ法人自治会費拠出のお願いに回る予定。今年、ギフトスクエアのむら・割烹きんえもん・たこやきの店などがフレスタの近くへ出店したこともあり、事業所数はやや増加する見通し。

四月十日に総会を開く

四月十日夜、倉掛地区各組自治会長をはじめ、連合会、婦人会、育成会、消防団の役員ら約四十名が出席して自治会総会が開かれ

いて自治連合会の片山守体育部長が、町民体育祭の競技種目や各組への選手割当について説明を行った。また、消防団第五部の矢

達敏文部長が「消火栓の現地使用説明会と新しい消火栓用ホースの入替え状況」を、自治連合会の妹尾一成消防部長が「六月六日の消火薬剤交換の予定」を、それぞれ報告した。

新自治会長全員出席

た。今回の総会には新自治会長の顔合わせと、五月に開かれる井原町民体育祭関連の議題が主な内容。

冒頭、自治連合会の梶谷昌弘会長が「日頃の自治会活動へのご協力を感謝します」と挨拶。役員紹介に続

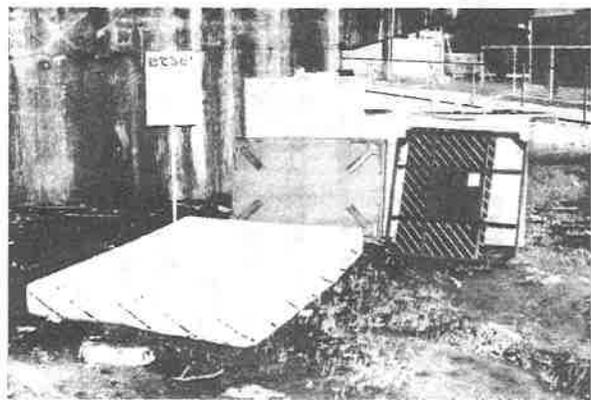
自治会	組	長	正則	義秀	二弘	晃昭	男行	勝夫	昇子	馬裕	三久	男治	治ヨ	紀隆	健介
1	組	仁城	林池	戸山	岡能	橋岡	山岡	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋
2	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
3	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
4	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
5	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
6	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
7	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
8	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
9	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
10	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
11	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
12	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
13	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
14	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
15	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
16	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
17	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
18	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
18	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	
18	組	若仁	池山	山岡	能橋	岡山	山毛	林岡	山田	嶋田	合利	中利	三芳	洋	

井原大橋の下へ家具など

無茶じゃ

三月中旬、井原大橋下の県有地（倉掛地区内）へ粗大ゴミが放置されているのを十三一組の西山徳幸さんが見つけ、市役所へ届け出た。

この粗大ゴミは、マットレスをはじめ、タンス・こたつ・空きビン・衣類・鉄アレーなど1トントラックに一杯程度の量。場所が橋脚の脇なので正式には県の管轄だが、最終的には市によって処理される。



井原市環境課では、「一時的に置いていた

推定工事費を示す

郷社修復工事に関する説明会

倉掛の郷社総代と神社委員は、郷社修復工事に伴う小単位での地域説明会を開催している。

三月七日には一、四組の住民への説明会が小田病院会議室で開かれた。席上、大久保格総代は「修復費として少なくとも3500万円

やかな活動を目指します」と抱負を述べている。

倉掛地区の事業所増加

五月に法人集金

倉掛自治連合会は五月十四日、倉掛地区内約六〇事業所へ法人自治会費拠出のお願いに回る予定。今年、ギフトスクエアのむら・割烹きんえもん・たこやきの店などがフレスタの近くへ出店したこともあり、事業所数はやや増加する見通し。

円程度が必要。郷社の土地売却収入1300万円を差し引き、2200万円が倉掛と夏目の氏子へお願いする実質的金額です。皆様のご理解を賜りたい」と具体的な数字を示した。説明会の進捗状況は約八割に達している。

三世代理容師誕生 理容いまい倉掛店



今井 豊さん (二十四歳)
今井岩男さん (八十五歳)
今井忠秋さん (五十九歳)
写真右より

理容いまい倉掛店(店主今井岩男さん(四組))に東京で理容師の国家資格を取得し、六年間の研修を終えた今井豊さんが就業、珍しい三世代理容店として話題となっている。

同店は昭和三十一年十二月、岩男さんが現在の場所創業。やがて長男の忠秋さんを中心とした営業体制が整った。

満八十五歳の岩男さんはこの道七十年の大ベテランで、地元理容界の長老格。日課の青竹踏みが欠かさないのも健康の秘訣とか。趣味の盆栽づくりを楽しむゆりの毎日だ。

忠秋さんは「親・子・孫が揃ったことで、お客様の年代に応じた対応が可能に

なった」と、後継ぎができた喜びを隠しきれない。そして、家業に就いた豊さんは「毎月岡山での研究会へは出席する予定です。地域の皆様には今後とも宜しくお願いします」と日々

の仕事に励んでいる。昨今は、たとえ故郷であっても自らの職業基盤となれない社会傾向にある。そうした中、三代目の理容師が育った理容いまい倉掛店は注目している。

全日本アンサンブルコンテスト 金管八重奏で日本一

倉掛地区の藤代佳万さん

佳万さんは井原中学の時から吹奏楽に取り組み、ハ

十三―三組の藤代靖久さんの長男佳万さんが三月二十日、福岡市で開かれた第二十二回全日本アンサンブルコンテストに中国地区代表・山陽高校金管八重奏のメンバーとして出場し、堂々金賞を受賞した。



写真上＝「井原中学の時、吹奏楽部顧問の小林巧先生(現在美星中学教員)に出会った事が大きい」と振り返る藤代佳万さん(右)。左は同級生の藤本政徳さん。2人は金管八重奏で高校日本一に輝いたヒーローだ。

イレベルで知られる山陽高校吹奏楽部でトランペット奏者として活躍。井中時代から一緒に頑張ってきた藤本政徳さん(上出部町)と共に八重奏者に選ばれた。

目標としてきたこの度の全日本アンサンブルコンテストの晴れ舞台では「金管八重奏のためのテレプレシコ―レ舞曲集」よりプレトリウス、を演奏。日本一の感動的な響きで、会場一杯の聴衆を魅了した。

母親の薫さんは「これまで親子一緒になって部活に取り組んできた感が強い。ご指導頂いた先生方に感謝したい」と話している。この四月から大学生になった佳万さんは「自分の可能性にチャレンジしたい」と、さらなる夢に向かって歩き始めている。

郷社の歴史

時代がたつて井原の人家が増えるに従って、足次山神社が他所から移された氏神様では気が納まらないと云うのも当然の事である。

倉垣の足次山神社は式内社であるから延喜式の出来た紀元九〇〇年の昔からすでに倉垣に鎮座していたという説。いやいやこの頃は未だ井原は茨で倉垣が米どころとして有名になり、朝廷の主基が置かれた一〇一六年頃に、天神山とは別に倉垣に足次山神社を祀ったという説。足次山神社と云うからには古伝の通り、応

永の頃一四〇〇年前後、天神山から移したに間違いはないという説。謎が謎を呼び氏子たちの疑心暗鬼は高まるばかりであった。

江戸時代の中頃、時の郷社足次山神社祠官大塚信吉さんは、この事態を懸念するあまり寛延四年(一七五二)三月、京都にある神道管領長上卜部朝臣兼雄に請願し、倉垣の里の足次大明神の縁起書を貰い受けた。大塚祠官はこの縁起書の披露文を別に作成して改めて倉垣の郷社は式内の古い神社であることを強調し、後

篠原国夫氏の説 その4

元芳井教育長

月郡内氏子中へ披露したものである。それには郡中各村庄屋、年寄が連判を押しするといふ念の入れ方で、祠官の苦心の程が伺われる。神道管領からの縁起書は両者の説を入れて合祀説になっているが、祠官の披露文では合祀説を入れないで延喜の御代(九〇一―九二二)以前から鎮座していたこと強調している。

人心収らんの意味からも信仰の中心となる郷社の必要が望まれたであろう。同じ足次郷に同じ足次神が二社存在したのでは不都合である。合併して式内神の郷社とするとう事がある。その当時の両氏子の偽らない心情であろうと考えられる。

神道管領長上の足次山神社縁起書を信用するほかはあるまい。山の無い倉垣の里に足次山神社とはこれ如何にという疑問が残るが、ずっと古くから祀られていた由緒深い天神山の足次山神社を他へ移す(倉垣へ合祀)からには、せめて名前だけでもそのままにという人情であろうかと考えるなら万幸めでたしである。

以上芳井と井原を結ぶ友好の架橋、足次山神社にまつわる昔話である。伝承のうそか、まことか後考にまつ事にしよう。(終)

倉掛ほっと情報

防犯灯のトラブルは、ほとんどが球切れ。ところが今年に限って器具本体の故障が既に4件と異常発生。梶谷自治連合会長は補助金請求窓口の市地域振興課を訪れる回数が増加。逆に自治会預金通帳残高は減少。会長、溜め息。郷社境内のすべり台に使用してあるビニールパイプが破損。子供たちが誤って怪我をする恐れがあるとして、注意を呼びかけている。

倉掛全域の溝掃除が近づいた。今年は5月23日～30日までに各戸や事業所で側溝の汚泥を土のう袋へ入れておき、6月6日に自治連合会が各自治会長の協力を得て回収する。詳細は自治連合会の田中利治衛生部長まで。(☎62-3151)

消火器の薬液交換は6月6日。今年自治会所有消火器が17本と多い。個人の泡沫式薬液交換料は450円。粉末式薬液交換料は3000円。消火器本体は7000円。詳細は自治連合会の妹尾一成消防部長まで。(☎62-3146)

◆ 行事予定 ◆

- 4/17 自治連合会防犯パトロール
- 4/18 井原公民館球技大会
- 4/18 倉掛ゴルフ同好会コンペ
- 5/8 古紙回収(倉掛は市役所へ)
- 5/9 第12回井原町民体育祭
- 5/14 倉掛地区法人自治会費集金
- 5/15 自治連合会防犯パトロール
- 5/16 倉掛少年団・倉掛公園及び土手草刈り作業 8時30分～
- 5/23-30 倉掛地区全域溝上げ
- 6/6 自治連合会全域汚泥回収
- 6/6 消火器薬液交換
- 6/6 ソフトボール同好会リーグ戦
- 6/6 消防団第5部試運転日
- 6/13 倉掛少年団廃品回収 8時～
- 6/27 井原学区少年団球技大会